

(別紙1)

平成29年度～令和2年度 社会福祉法人あぶた福祉会 社会福祉充実計画（実績）

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人あぶた福祉会		法人番号	7430005009763				
法人代表者氏名	夏目 與市							
法人の主たる所在地	虻田郡洞爺湖町清水142番地の3							
連絡先	0142-76-3298							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	平成29年 5月29日							
評議員会の承認年月日	平成29年 6月20日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (平成31年度末現在)	4か年度目 (平成32年度末現在)	5か年度目 (平成33年度末現在)	合計	社会福祉充実事業未充当額
	482,720 千円	482,720 千円	432,026 千円	313,461 千円	0 千円	0 千円		0 千円
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		0 千円	▲50,694 千円	▲118,565 千円	▲313,461 千円	0 千円	▲482,720 千円	
本計画の対象期間	平成29年8月1日～令和3年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。	無	0千円
	共同生活住居整備事業	社会福祉事業	既存	共同生活援助の用に供する土地・建物については、賃貸借契約により	有	0千円

				確保しているが、利用者の障害特性、高齢化に伴う身体機能の低下等に応じた構造及び設備を有したものが必要となっている。利用者が継続して地域生活が営むことができるよう共同生活住居3棟の建設用地を取得する。			
	地域生活支援拠点整備事業	社会福祉事業	新規	当法人としては、障がいのある人の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、身近な地域での支援体制が必要との観点から、整備可能な社会資源や機能を整備し、「障害のある方々やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくり」として、地域生活支援拠点を積極的に整備するため、立地等を考慮し、建設用地を取得する。	有	0千円	
	小計						0千円
2か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。	無	831千円	
	共同生活住居整備事業	社会福祉事業	既存	前述の共同生活援助の用に供する建物について、利用者の障害特性、高齢化に伴う身体機能の低下等に応じたバリアフリー、介護浴室・トイレなどの設備を有した共同生活住居3棟を整備する。	有	49,863千円	
	小計						50,694千円
3か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。	無	153千円	
	共同生活住居整備事業	社会福祉事業	既存		有	178,512千円	
	地域生活支援拠点整備事業	社会福祉事業	新規	前述の地域生活支援拠点の整備において、取得する建設用地に基づき、基本設計及び実施設計を行う。	有	9,900千円	
	小計						188,565千円

4か年度目	職員育成事業	社会福祉事業	既存	新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。	無	△132 千円
	地域生活支援拠点整備事業	社会福祉事業	新規	前述の地域生活支援の拠点等の整備として、相談支援、体験利用支援、緊急時の受け入れ・対応のための単独型短期入所、高齢又は重度の障害を持つ方を対象とした生活介護、さらには地域交流スペースの機能などを有した施設を整備する。	有	433,979 千円
	小計					
5か年度目						
	小計					
合計						673,106 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<p>「中長期計画」（平成 27 年度策定）を踏まえた内容の社会福祉充実計画とした。</p> <p>【職員育成事業】新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。</p> <p>【共同生活住居の整備】利用者の障害特性、高齢化に伴う身体機能の低下等に応じた構造及び設備を有したものが必要とし整備することとした。</p> <p>【地域生活支援拠点の整備】障がいのある人の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、身近な地域での支援体制が必要との観点から、整備可能な社会資源や機能を整備することとした。</p>
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
職員育成 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	0 千円	831 千円	153 千円	△132 千円		852 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	0 千円	831 千円	153 千円	△132 千円		852 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
共同生活住 居整備事業	計画の実施期間に おける事業費合計	0 千円	49,863 千円	178,512 千円			228,375 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	0 千円	49,863 千円	108,512 千円			158,375 千円
		補助金						
		借入金			70,000 千円			70,000 千円
		事業収益						
		その他						

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計	
地域生活支 援拠点整備 事業	計画の実施期間に おける事業費合計	0 千円	0 千円	9,900 千円	433,979 千円		443,879 千円	
	財源構成	社会福祉充実 残額	0 千円	0 千円	9,900 千円	313,593 千円		323,493 千円
		補助金						
		借入金						
		事業収益						
		その他				120,386 千円		120,386 千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	職員育成事業	
主な対象者	新規採用職員	
想定される対象者数	4人	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和3年3月31日	
事業内容	新規事業所開設に備え、人材確保とサービスの質の向上のために、現在、設置運営している施設・事業所の支援員等を加配し、人材育成を図る。最終的に生活支援員等4名以上を加配した中で、実務経験者及び新規採用も含めたスタッフにより開設を目指したい。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	生活支援員0名を加配する。
	2か年度目	生活支援員0名を加配する。(資格取得助成)
	3か年度目	生活支援員0名を加配する。(資格取得助成)
	4か年度目	生活支援員0名を加配する。(資格取得助成)
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	人件費 1か年度目 0千円	
	人件費 2か年度目 831千円(資格取得助成 7人)	
	人件費 3か年度目 153千円(資格取得助成 5人)	
	人件費 4か年度目△132千円(資格取得助成 5人)	
	合計	852千円(うち社会福祉充実残額充当額 852千円)
地域協議会等の意見と その反映状況		

事業名	共同生活住居整備事業	
主な対象者	既存共同生活住居で生活する高齢又は重度の利用者等	
想定される対象者数	21人	
事業の実施地域	洞爺湖町の全域	
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和元年12月31日	
事業内容	<p>共同生活援助に供する土地・建物については、賃貸借契約により確保しているが、利用者の障害特性、高齢化に伴う身体機能の低下等に応じた構造及び設備を有したものが必要となっている。利用者が継続して地域生活が営むことができるようバリアフリー、介護浴室・トイレ等などの設備を有した共同生活住居3棟を整備する。</p> <p>また、法人が所有することで低額で共同生活住居を提供できる。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	家族や地域住民との交流の機会が確保される地域又は自然災害の発生が低い地域を検討し、建設用地を取得する。
	3か年度目	利用者の障害特性、高齢化に伴う身体機能の低下等に応じた構造及び設備を検討の上、基本・実施設計を経て、建設工事を行う。
	4か年度目	
	5か年度目	
事業費積算 (概算)	建設用地の取得	44,571千円(地域生活支援拠点施設と同一敷地)
	基本設計	1,296千円(地域生活支援拠点施設と共通経費)
	実施設計・監理	5,292千円
	建物建設工事	175,966千円(3棟)
	初度調弁費	1,250千円
	合計	228,375千円(うち社会福祉充実残額充当額 158,375千円)
地域協議会等の意見とその反映状況		

事業名	地域生活支援拠点整備事業							
主な対象者	洞爺湖町で生活する障害のある人や障害のある子供							
想定される対象者数	150人							
事業の実施地域	洞爺湖町の全域							
事業の実施時期	平成29年8月1日～令和3年3月31日							
事業内容	<p>障がいのある人の高齢化・重度化や「親亡き後」を見据え、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、身近な地域での支援体制が必要との観点から、整備可能な社会資源や機能を整備し、「障害のある方々やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくり」として、地域生活支援拠点を積極的に整備する。相談支援、体験利用支援、緊急時の受け入れ・対応のための単独型短期入所、高齢又は重度の障害を持つ方を対象とした生活介護事業、さらには地域交流スペースの機能などを有した施設を整備する。</p>							
事業の実施スケジュール	1か年度目	家族や地域住民との交流の機会が確保される地域又は自然災害の発生が低い地域を検討し、建設用地を取得する。						
	2か年度目	地域生活支援拠点としての機能を発揮できるよう、行う事業の細部にわたる運営内容を検討し、運営計画として策定する。						
	3か年度目	運営計画に基づいた構造、規模及び設備等を検討の上、基本・実施設計を行う。						
	4か年度目	基本・実施設計により、建設工事を行う。						
	5か年度目	事業開始予定						
事業費積算 (概算)	建設用地の取得	0千円（共同生活住居と同一敷地）						
	基本設計	0千円（共同生活住居と共通経費）						
	実施設計	9,900千円						
	建物建設工事	433,979千円						
		<table border="1"> <tr> <td>建築工事費</td> <td>428,066千円</td> </tr> <tr> <td>工事管理費</td> <td>3,960千円</td> </tr> <tr> <td>初度調弁費</td> <td>1,953千円</td> </tr> </table>	建築工事費	428,066千円	工事管理費	3,960千円	初度調弁費	1,953千円
建築工事費	428,066千円							
工事管理費	3,960千円							
初度調弁費	1,953千円							
	合計	443,879千円（うち社会福祉充実残額充当額 323,493千円）						
地域協議会等の意見とその反映状況								

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

--